



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年7月29日

上場会社名 櫻島埠頭株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 9353 URL <http://www.sakurajima-futo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森中 通裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役(総務担当) (氏名) 増田 康正 (TEL) 06(6461)5331  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,178	△0.6	33	—	49	—	48	—
23年3月期第1四半期	1,184	6.7	△68	—	△53	—	△71	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	3 25	—
23年3月期第1四半期	△4 73	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,681	2,920	51.4
23年3月期	5,792	2,881	49.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 2,920百万円 23年3月期 2,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0 00	0 00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※24年3月期(予想)の期末配当金については、未定であります。

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,200	△10.0	△40	—	△30	—	△25	—	△1 66
通期	4,400	△2.7	30	—	50	—	200	—	13 31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期1Q	15,400,000株	23年3月期	15,400,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	376,028株	23年3月期	375,489株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	15,024,376株	23年3月期1Q	15,025,597株
----------	-------------	----------	-------------

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 平成24年3月期の配当金につきましては、現時点では未定とさせていただきます。今後の事業推移や業績見通しを勘案の上で、決定次第速やかに開示を行う予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間のわが国経済は、海外経済の回復傾向を背景とする輸出増加等により一部緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、厳しい雇用情勢や原材料価格の高騰、円高は継続し、さらには3月に発生した東日本大震災の甚大な被害や影響により、依然として厳しい状況で推移しました。

このような情勢のもと、当第1四半期累計期間の売上高は11億7千8百万円となり、前年同期に比べ6百万円、0.6%の減収となりました。

一方、売上原価は、荷役関係諸払費が減少したほか、減価償却費や人件費が減少したため、10億3千8百万円となり、前年同期に比べ8千9百万円、7.9%の減少となりました。また、販売費及び一般管理費についても、1億6百万円となり、前年同期に比べ1千9百万円、15.4%の減少となりました。

この結果、当第1四半期の営業利益は3千3百万円（前年同期は6千8百万円の営業損失）となり、経常利益は、配当金を収受したことから4千9百万円（前年同期は5千3百万円の経常損失）となりました。

四半期純利益につきましては、4千8百万円（前年同期は7千1百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の営業の概況は、次のとおりです。

#### (ばら貨物セグメント)

クレーンで取り扱う港湾貨物は、前年同期に比べ石炭を中心に荷役数量が増加しました。これにより、荷役業務をはじめ関連する海上運送、保管、その他の各業務につきましても取扱数量が増加しました。

以上により、ばら貨物セグメントの売上高は5億3百万円となり、前年同期に比べ1億4百万円、26.2%の増収となりました。

#### (液体貨物セグメント)

石油類は、重油の取扱数量が増加したことにより増収となりました。一方、化学品類につきましては、取扱数量が減少したことから減収となりました。

以上により、液体貨物セグメントの売上高は2億9千9百万円となり、前年同期に比べ1百万円、0.6%のわずかな増収となりました。

#### (物流倉庫セグメント)

危険物倉庫と冷蔵倉庫は、ほぼ前年同期並みの売上高となりました。

一方、低温倉庫は保管業務で減収となり、撤去準備期間中の第2低温倉庫は取扱数量の減少により減収となりました。食材加工施設は、関連業務が終了し減収となりました。

以上の結果、物流倉庫セグメントの売上高は3億7千5百万円となり、前年同期に比べ1億1千3百万円、23.1%の減収となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の総資産は56億8千1百万円となり、前事業年度末に比べて1億1千万円減少しました。これは減価償却の実施などにより有形固定資産が減少したことが主な理由であります。

負債合計につきましては、未払法人税等が減少したほか、長期借入金等の有利子負債の返済が進んだことなどから、前事業年度末に比べて1億4千9百万円減少し、27億6千1百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金の増加などにより前事業年度末に比べて3千8百万円増加し、29億2千万円となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期累計期間において、売上高は期初予想を若干上回り、経費削減の効果も見られました。しかし、東日本大震災の影響や電力の需給動向などが今後も懸念されるため、先行きの見通しを立てにくい状況となっています。

従いまして、平成24年3月期の第2四半期累計期間と通期の業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表した数値に変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	757,060	750,642
受取手形及び売掛金	382,341	422,368
有価証券	39,991	39,993
貯蔵品	16,700	15,215
その他	64,039	31,894
貸倒引当金	△6,828	△7,390
流動資産合計	1,253,305	1,252,724
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,579,088	1,539,860
構築物(純額)	427,553	403,337
機械及び装置(純額)	531,113	497,331
その他(純額)	61,871	59,821
有形固定資産合計	2,599,626	2,500,351
無形固定資産	205,356	205,986
投資その他の資産		
投資有価証券	1,294,937	1,278,107
その他	439,593	444,700
投資その他の資産合計	1,734,531	1,722,807
固定資産合計	4,539,514	4,429,145
資産合計	5,792,819	5,681,870
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	216,882	209,876
1年内返済予定の長期借入金	381,510	371,780
未払法人税等	19,505	2,028
賞与引当金	17,502	27,303
固定資産撤去損失引当金	142,148	142,148
資産除去債務	292	293
その他	417,342	395,953
流動負債合計	1,195,182	1,149,382
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	1,076,550	983,990
退職給付引当金	12,828	17,846
役員退職慰労引当金	116,546	121,596
環境対策引当金	74,717	73,266
資産除去債務	23,265	23,359
その他	361,737	341,625
固定負債合計	1,715,645	1,611,682
負債合計	2,910,828	2,761,065

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	770,000	770,000
資本剰余金	365,161	365,161
利益剰余金	1,537,148	1,585,941
自己株式	△53,509	△53,562
株主資本合計	2,618,799	2,667,540
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	263,191	253,264
評価・換算差額等合計	263,191	253,264
純資産合計	2,881,991	2,920,804
負債純資産合計	5,792,819	5,681,870

(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,184,953	1,178,117
売上原価	1,127,800	1,038,623
売上総利益	57,153	139,494
販売費及び一般管理費	125,650	106,302
営業利益又は営業損失(△)	△68,497	33,192
営業外収益		
受取利息	768	795
受取配当金	18,335	17,207
その他	4,494	5,175
営業外収益合計	23,598	23,178
営業外費用		
支払利息	8,083	7,103
その他	72	95
営業外費用合計	8,156	7,199
経常利益又は経常損失(△)	△53,055	49,171
特別利益		
固定資産売却益	631	—
特別利益合計	631	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15,833	—
特別損失合計	15,833	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△68,257	49,171
法人税、住民税及び事業税	945	882
法人税等調整額	1,883	△503
法人税等合計	2,828	378
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△71,085	48,793

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。